

新潟県交通安全対策連絡協議会員

<官公庁>

- ・新潟県
- ・新潟県警本部
- ・新潟県教育委員会
- ・国土交通省北陸地方整備局
- ・国土交通省北陸信越運輸局
- ・国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局
- ・厚生労働省新潟労働局
- ・新潟市
- ・新潟県市長会
- ・新潟県町村会
- ・新潟県市町村総合事務組合

<教育関係団体>

- ・新潟県小学校長会
- ・新潟県中学校長会
- ・新潟県高等学校長協会
- ・新潟県小中学校PTA連合会
- ・新潟県高等学校PTA連合会
- ・新潟県専門学校協会
- ・新潟県私立中学高等学校協会
- ・新潟県幼稚園・こども園連盟
- ・新潟県私立幼稚園・認定こども園協会
- ・新潟県保育連盟

<交通・運輸関係団体>

- ・東日本旅客鉄道株式会社新潟支社
- ・東日本高速道路株式会社新潟支社
- ・公益財団法人新潟県交通安全協会
- ・一般社団法人新潟県安全運転管理者協会
- ・公益社団法人新潟県トラック協会
- ・公益社団法人新潟県バス協会
- ・一般社団法人新潟県ハイヤー・タクシー協会
- ・一般社団法人新潟県自動車整備振興会
- ・新潟県自動車販売店協会
- ・一般財団法人新潟県自動車標板協会
- ・一般社団法人新潟県指定自動車教習所協会
- ・一般財団法人新潟県自動車検査所
- ・軽自動車検査協会新潟県事務所
- ・陸上貨物運送事業労働災害防止協会新潟県支部
- ・独立行政法人自動車事故対策機構新潟県支部
- ・自動車安全運転センター新潟県事務所
- ・一般社団法人新潟県交通安全施設協会
- ・新潟県高速道路交通安全協議会
- ・新潟市個人タクシー事業協同組合
- ・一般社団法人日本自動車連盟新潟支部
- ・新潟県自転車・軽自動車協同組合
- ・新潟県レンタカー協会
- ・新潟県ハイヤー交通共済協同組合

- ・新潟県自動車車体整備協同組合
- ・赤十字新潟県軽自動車運送協同組合
- ・新潟県オートバイ事業協同組合
- ・新潟県軽自動車協会
- ・日本運送株式会社新潟支店
- ・新潟県中古自動車販売協会
- ・一般社団法人新潟県運転代行協会

<報道関係>

- ・株式会社新潟日報社
- ・朝日新聞社新潟編局
- ・毎日新聞社新潟支局
- ・読売新聞社新潟支局
- ・産経新聞社新潟支局
- ・共同通信社新潟支局
- ・時事通信社新潟支局
- ・日本経済新聞社新潟支局
- ・NHK新潟放送局
- ・株式会社新潟放送
- ・株式会社NST新潟総合テレビ
- ・株式会社テレビ新潟放送網
- ・株式会社新潟テレビ21
- ・株式会社柏崎コミュニティ放送
- ・長岡移動電話システム株式会社
- ・株式会社エフエムラジオ新潟
- ・燕三条エフエム放送株式会社
- ・株式会社けんと放送
- ・株式会社エフエム新津
- ・エフエム角田山コミュニティ放送株式会社
- ・株式会社エフエム豊田
- ・株式会社エフエムしばた
- ・株式会社エフエムとおかまち
- ・エフエム魚沼株式会社

<青少年・福祉関係団体>

- ・社会福祉法人新潟県社会福祉協議会
- ・日本ボーイスカウト新潟連盟
- ・新潟県青少年健全育成県民会議
- ・一般財団法人新潟県民生委員児童委員協議会

<その他関係団体>

- ・新潟県石油業協同組合
- ・日本郵便株式会社信越支社
- ・一般社団法人新潟県商工会議所連合会
- ・新潟県商工会連合会
- ・新潟県中小企業団体中央会
- ・一般社団法人新潟県銀行協会
- ・全国交通運輸労働組合連合会新潟県支部
- ・一般社団法人新潟県農業会議

- ・新潟県農業機械商業協同組合
- ・新潟県農業共済組合
- ・新潟県農業協同組合中央会
- ・全国共済農業協同組合連合会新潟県本部
- ・全国農業協同組合連合会新潟県本部
- ・新潟県信用農業協同組合連合会
- ・新潟県酪農業協同組合連合会
- ・東北電力ネットワーク株式会社新潟支社
- ・新潟県酒造組合
- ・新潟県卸酒販組合
- ・新潟県小売酒販組合連合会
- ・新潟県森林組合連合会
- ・新潟県漁業協同組合連合会
- ・公益財団法人新潟県生活衛生営業指導センター
- ・新潟県すし商生活衛生同業組合
- ・新潟県旅館ホテル生活衛生同業組合
- ・新潟県料理生活衛生同業組合
- ・新潟県社交飲食生活衛生同業組合
- ・一般財団法人新潟県老人クラブ連合会
- ・公益財団法人にいがた産業創造機構
- ・新潟県医師会
- ・公益社団法人新潟県薬剤師会
- ・一般社団法人新潟県歯科医師会
- ・公益社団法人新潟県看護協会
- ・新潟県土地改良事業団体連合会
- ・一般社団法人新潟県建設専門工事業団体連合会
- ・一般社団法人新潟県空間衛生工事業協会
- ・一般社団法人新潟県LPガス協会
- ・一般社団法人新潟県解体工事業協会
- ・一般社団法人新潟県産業資源循環協会
- ・新潟県住宅供給公社
- ・一般社団法人新潟県建設業協会
- ・一般社団法人新潟県砂利砕石協会
- ・新潟県生コンクリート工業組合
- ・新潟県電気工事工業組合
- ・一般社団法人日本建設業連合会北陸支部
- ・一般社団法人新潟県電設協会
- ・一般社団法人新潟県高圧ガス保安協会
- ・公益社団法人新潟県宅地建物取引業協会
- ・新潟県信用組合協会
- ・一般社団法人新潟県警備業協会
- ・新潟県信用金庫協会
- ・日本通信株式会社
- ・新潟県生活協同組合連合会

(令和7年4月1日現在
131推進機関・団体、順不同)

止まって！横断歩道キャンペーン実施中！

- 通年運動となっている【止まって！横断歩道キャンペーン】の取組の重点期間となっています。
- 令和6年7月中の横断歩道横断中の死者は1人（前年比+1人）で、負傷者は7人（前年比-5人）でした。
負傷者のうち、中学生以下の子どもは2人（前年比-2人）、65歳以上の高齢者は4人（前年比±0人）と全体の8割以上を占めています。
- これから夏休みと重なり、子ども達が横断歩道を渡る機会も増えることが予想されますので、交通事故防止に努めましょう。

7/22(火)～7/31(木)
取組重点期間



令和7年

夏の交通事故防止運動

新潟県実施要綱

1 実施期間

7月22日(火)～7月31日(木)

2 目的

この運動は、夏休みに入るこの時期に、こどもたちや若者の開放感から起こる事故や、夏のレジャーによる疲労運転等から起こる事故が懸念されることから、「事故を起こさない」「事故に遭わない」ために、広く県民に交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を呼びかけ、交通事故防止の徹底を図ることを目的とします。

3 スローガン

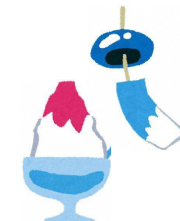
『 急がずに 暑い夏こそ ゆずり愛（あい） 』

4 運動の重点

- ① 横断歩行者の交通事故防止
～渡るよサインの活用～
- ② 疲労運転の防止
- ③ 飲酒運転の根絶

5 運動の進め方

県、市町村及び関係機関・団体は、相互に連携を密にして、この実施要綱に基づき、それぞれの実情に即した具体的な実施計画を策定するとともに、積極的な広報活動などを通じて、すべての県民に周知を図ることにより、この運動への参加意識を高め、幅広い県民運動として展開します。



新潟県交通安全マスコット
ルルちゃん

新潟県交通安全対策連絡協議会

重点① 横断歩行者の交通事故防止～渡るよサインの活用～

横断歩道では歩行者が最優先です！

- ドライバーは、横断歩道を渡っている、または渡ろうとする歩行者がいた場合、一時停止をしなければなりません。また、横断する歩行者がいなかったことが明らかな場合のほかは、横断歩道の手前で停止できるような速度で運転しなければなりません。



一時停止しなかった場合は、横断歩行者等妨害等違反になります。
(違反時の反則金等の一例：普通車9,000円、違反点数2点)

歩行者の方も要注意！

☆「渡るよサイン」を活用しましょう！☆

「渡るよサイン」とは

歩行者がドライバーに横断意思を伝える方法です。歩行者は、「手をあげる」「胸やお腹の前に手をかざす」「運転者に目で合図を送る」等様々な方法で、ドライバーに横断意思を伝えましょう。

- 歩行者の方も、「近くに横断歩道があるのに、横断歩道を渡らない」、「信号無視」等の交通違反が認められる場合があります。
歩行者も交通ルールをしっかりと守ることによって、大切な命を守りましょう。



重点② 疲労運転の防止

夏季の運転はこまめに休憩！

- 夏季は、暑い屋外での活動や冷房の効いた室内との寒暖差などにより、気がつかないうちに疲労が蓄積しがちです。
運転に必要な集中力や注意力が低下すると、漫然運転や居眠り運転につながり、重大な交通事故の原因となるおそれがあります。
- 「あくび」は休憩のサイン
運転中、あくびが出ることがあると思います。あくびが出たからといって、すぐに眠ってしまうことはありませんが、脳や体が疲れている一つのサインと受け止めて休憩をとるきっかけにしましょう。
- 車を運転する前には体調を万全にし、無理のない運転計画を立てるとともに、こまめに休憩をとりましょう！
また、体調に不安がある場合は、「運転しない」という決断も大切です。



重点③ 飲酒運転の根絶

飲酒運転は重大な犯罪です！

- 気温が上がるこれからの時期は、キンキンに冷えたビールがおいしく、暑気払いやお盆の集まり等、飲酒の機会も多くなります。

つつい、沢山飲んでしまいがちですが…。



飲酒運転の危険性について再確認！

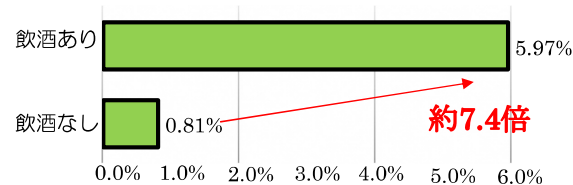
- 令和6年中の飲酒運転が関係する交通事故件数は 35 件で、そのうち交通事故死者数は 1 人です。
また、本年5月末現在の飲酒運転が関係する交通事故発生件数は 15 件（前年比±0）で、昨年同月比と同数です。（5月末時点の発生件数は速報値）
- これまでも、飲酒運転が伴う悲惨な交通死亡事故が発生し、そのたびに、道路交通法の改正により厳罰化がなされてきました。
飲酒運転の危険性や違法性について、誰もが認識しているにもかかわらず、未だに飲酒運転に関わる交通事故が後を絶ちません。
「少ししか飲んでいないし…。」「ちょっとだけなら…。」その考えが、取り返しのつかない結果を招くのが飲酒運転です。
- 二日酔いも飲酒運転になります。
個人差はあるものの、アルコールは体内から簡単に抜けないことを認識し、深酒や大量に飲酒をした翌日は公共交通機関を利用するなど、車の運転を控えましょう。



STOP！ 飲酒運転



死亡事故率比較（令和6年）



- 飲酒の有無別による交通事故の死亡事故率を見ると、飲酒ありの場合は飲酒なしの場合と比べて、約 7.4 倍と極めて高く、飲酒運転による交通事故は死亡事故につながる危険性が高いことがわかります。

飲酒運転の死亡事故率 **約7.4倍**